

### 1.1 法源依據

## 1.2 適用範圍

連接公眾交換電話網路(PSTN)的通信電信終端設備將概分 A. B. C…至 J 種類，各種類電信終端設備需符合本技術規範的章節，詳細規定在產品別測試要求明細表共 3 頁，電信終端設備名稱與代號對照如下：

- A. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備電話機功能。
- B. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備電話答錄機功能。
- C. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備有線電話無線主副機功能。
- D. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備傳真機功能。
- E. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備數據機功能。
- F. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備來話顯示功能。
- G. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備交換機功能。
- H. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備按鍵電話系統功能。
- I. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：具備助聽功能。
- J. 連接公眾交換電話網路的電信終端設備：代號 A 至 I 以外功能產品。

[illegible]

4.1.6.3	開路時交流阻抗	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.7	閉路時直流電阻	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.8	信號送出位準限制	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.9	橫軸平衡限制	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.10	回流損失	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.11	脈衝撥號	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.1.12	雙音複頻撥號信號	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.12.1	頻率組合	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.12.2	信號位準	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.12.3	信號位準差	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.12.4	信號時間	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.12.5	中斷時間	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
4.1.13	串接設備	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.1.13.1	串接設備的直流壓降	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.1.13.2	串接設備的插入損失	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.2	聽筒功能	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.1	傳輸當量	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.1.1	送話傳輸當量	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.1.2	受話傳輸當量	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.2	傳輸特性頻率響應	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.2.1	送話頻率響應	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.2.2	受話頻率響應	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.3	側音當量	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.4	失真度	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.4.1	送話失真度	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.4.2	受話失真度	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.5	受話音量控制	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.6	受話器的連續音壓位準	Y	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.7	受話器音量控制(具助聽功能)	※	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.2.8	受話器磁通量測試(具助聽功能)	※	※	※	※	※	※	※	※	Y	※
4.3	連接(PSTN)的無線電話功能	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.1	射頻頻率規定	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.2	密碼規定	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.3	發射機規定	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.3.1	載波頻率	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.3.2	調變靈敏度	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.3.3	音頻失真	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.4	接收機規定	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.4.1	可用靈敏度	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.4.2	可用頻寬	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.4.3	音頻失真	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.4.4	信號與雜訊比	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.4.5	鄰波道拒斥	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※

4.3.4.6	混附響應拒斥	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.3.5	輻射電場強度與輻射干擾測試	※	※	Y	※	※	※	※	※	※	※
4.4	交換機功能特性	※	※	※	※	※	※	Y	Y	※	※
4.4.1	一般特性	※	※	※	※	※	※	Y	Y	※	※
4.4.1.1	停電	※	※	※	※	※	※	Y	Y	※	※
4.4.1.2	切斷中繼線	※	※	※	※	※	※	Y	Y	※	※
4.4.2	靜態雜音	※	※	※	※	※	※	Y	Y	※	※
4.4.3	傳輸損失	※	※	※	※	※	※	Y	Y	※	※
4.4.4	串音損失	※	※	※	※	※	※	Y	Y	※	※
4.5	通信協定規定	※	※	※	Y	Y	※	※	※	※	※
4.6	來話顯示功能	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.1	FSK 信號檢測標準	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.1.1	交流及直流界限	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.1.2	時序	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.1.3	信號狀況	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.1.4	封包狀況	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.1.5	展現層訊息狀況	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.2	DTMF 信號檢測標準	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.2.1	NIT 狀態直流電阻	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.2.2	脫離 NIT 狀態	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.2.3	DTMF 信號	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.2.4	DTMF 碼/號碼	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.6.2.5	串接設備之防干擾測試	※	※	※	※	※	Y	※	※	※	※
4.7	自動重撥功能	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.7.1	自動撥號功能	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.7.1.1	自動重撥次數及時間限制	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.7.1.2	自動重撥拆線時間限制	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
4.7.2	自動應答功能規定	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※

備註：

- (1) Y 表示電信終端設備必須符合的章節。
- (2) ※表示電信終端設備若具備此項功能時，則必須符合的章節。
- (3) 若電信終端設備具備含二條中繼線以上時，則必須符合 4.4.4 串音損失規定。